

1. 今春の概要『高温・多雨・多照』

「寒気の流入が弱く、6年連続の暖かい春」

3月は、発達した低気圧の影響でまとまった雨となった時期があり、月降水量は平年よりかなり多かった。また、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は平年よりかなり高く、月降雪量は平年よりかなり少なかった。4月は、上旬と下旬は北海道付近を低気圧や前線が通過することが多かったため、雨や雪の日が多かった。また、低気圧の通過後は寒気が流れ込みやすかったため、断続的に低温となった。5月は、オホーツク海側を中心に気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。また、南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温は平年より高く、真夏日となった日もあった一方、オホーツク海高気圧や寒気の影響により気温が平年よりかなり低くなった時期もあった。

(1) 気温

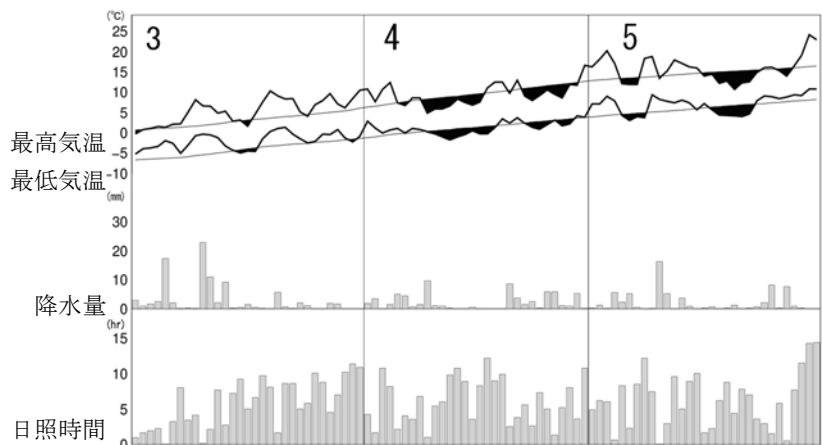
3月は、暖かい空気に覆われやすかったため、月平均気温は平年よりかなり高かった。4月と5月は、寒気の流入やオホーツク海高気圧の影響により平年より低い時期があった。春の平均気温は、6年連続で平年より高かった。

(2) 降水量

3月は、発達した低気圧の影響でまとまった雨となった時期があり、月降水量は平年よりかなり多かった。4月の月降水量は平年並だったが、5月は、太平洋側では低気圧や気圧の谷の影響を受けにくかったため、月降水量は平年より少なかった。春の降水量は、平年より多かった。

(3) 日照時間

3月は、上旬は低気圧や冬型の気圧配置の影響により平年よりかなり少なかったが、中旬以降は晴れた日が多く、月間日照時間は平年より多くなった。4月と5月は、天気が数日の周期で変わり、月間日照時間は平年並だった。春の日照時間は平年より多かった。

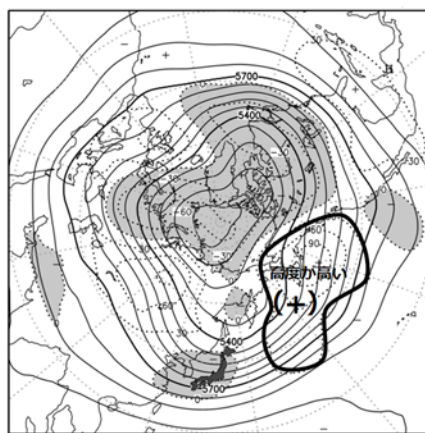


第1図 2020年の春(3~5月)の日々の気象経過(北海道22地点平均)

2. 大気の流れの特徴

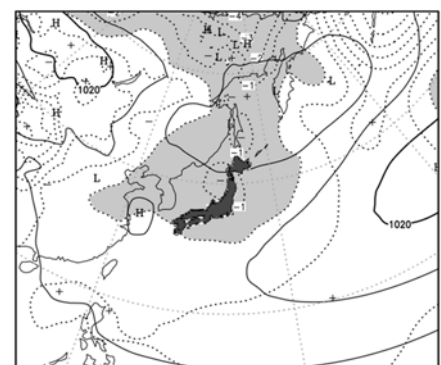
500hPa天気図：日本海付近で高度が低く、日本の東海上では高度が高かった(黒い太線内)。このため、北日本と東日本を中心に南から暖かい空気が入りやすかった。

地上天気図：日本の東海上で気圧が高くなっており、北日本と東日本では、南から暖かい空気が入りやすい時期もあった。また、日本付近は気圧が低く、発達した低気圧の影響でまとまった雨となった時期もあった。



第2図a 春平均の500hPa天気図

実線：等高線(m)、点線：高度の平年偏差(m)
陰線部は、平年より高度の低い負偏差の領域を示す。
この領域では平年より気温が低い傾向がある。
日本の上空では、風は等高線に沿って西から東に吹いている。等高線が南北に波打っている状態は偏西風が進行していることを、等高線の間隔が狭い所では偏西風が強いことを示す。

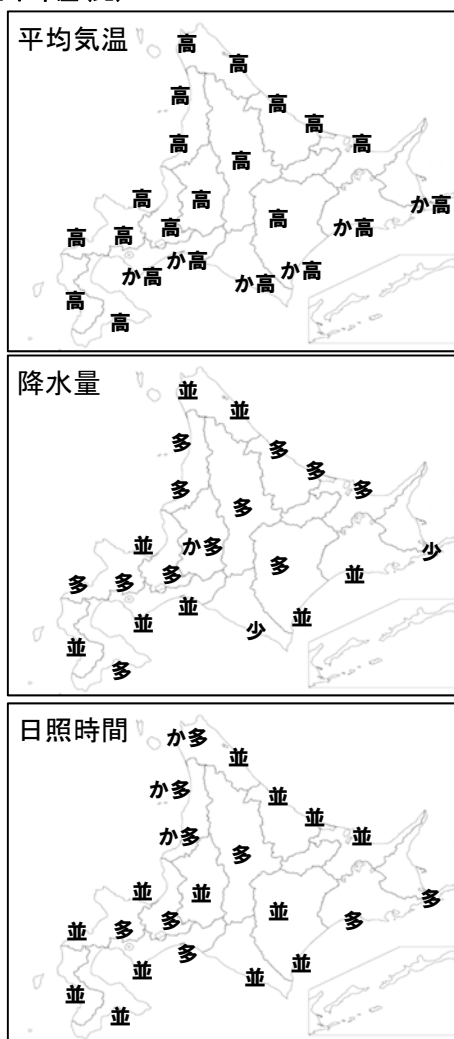


第2図b 春平均の地上天気図

実線：等圧線(hPa)、点線：気圧の平年差(hPa)
陰線部は平年より気圧が低いことを示す。
この領域では、平年より気圧の谷や低気圧の影響を受けやすい。

第1表 北海道の主な22地点における春の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)

官署名	今春			平年偏差・平年比(階級)		
	気温 ℃	降水量 mm	日照時間 h	気温 ℃	降水量 %	日照時間 %
稚内	5.1	159.5	590.7	+1.0 (+)	96 (0)	119 (++)
北見枝幸	4.8	183.0	499.6	+1.1 (+)	92 (0)	102 (0)
羽幌	6.2	241.0	587.9	+1.0 (+)	130 (+)	115 (++)
雄武	4.5	188.5	518.8	+1.1 (+)	134 (+)	101 (0)
留萌	6.2	205.0	593.5	+0.9 (+)	132 (+)	118 (++)
旭川	6.1	205.0	557.4	+0.9 (+)	123 (+)	108 (+)
網走	4.9	189.5	524.5	+0.9 (+)	121 (+)	97 (0)
小樽	7.3	199.5	534.3	+1.1 (+)	101 (0)	105 (0)
札幌	7.9	205.5	566.8	+1.2 (+)	109 (+)	109 (+)
岩見沢	6.8	231.5	558.3	+1.2 (+)	123 (++)	104 (0)
帯広	6.6	198.5	594.6	+1.3 (+)	109 (+)	98 (0)
釧路	5.0	239.5	599.6	+1.4 (++)	97 (0)	105 (+)
根室	4.5	151.5	577.0	+1.4 (++)	69 (-)	106 (+)
寿都	6.9	240.5	495.5	+0.8 (+)	130 (+)	104 (0)
室蘭	6.9	238.0	585.4	+1.2 (++)	106 (0)	103 (0)
苫小牧	6.1	260.0	544.3	+1.2 (++)	104 (0)	107 (+)
浦河	6.1	194.0	579.8	+1.1 (++)	79 (-)	102 (0)
江差	8.0	225.5	495.8	+0.7 (+)	96 (0)	105 (0)
函館	7.9	258.0	523.7	+1.1 (+)	121 (+)	97 (0)
倶知安	5.7	283.5	513.8	+1.0 (+)	120 (+)	107 (+)
紋別	4.9	163.0	513.3	+0.9 (+)	112 (+)	99 (0)
広尾	5.7	319.0	551.4	+1.1 (++)	87 (0)	101 (0)
北海道22地点平均				+1.1 (+)	109 (+)	105 (+)
日本海側10地点平均				+1.0 (+)	116 (+)	109 (+)
オホーツク海側4地点平均				+1.0 (+)	115 (+)	100 (0)
太平洋側8地点平均				+1.2 (++)	97 (0)	102 (0)



第3図 春(3～5月)の平年差(比)の階級分布図

注) 括弧付きの値は欠測を含み、×は欠測を示す。

階級は、++はかなり高い・多い、+は高い・多い、0は平年並、-は低い・少ない、--はかなり低い・少ない

第2表 月別、旬別の全道および地域平均の平均気温、降水量、日照時間と平年差(比)と階級

(か→かなり、並→平年並 をそれぞれ示す。)

北海道全域

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+2.7 か高	+2.1 か高	+2.5 か高	+2.5 か高	+0.8 高	-0.9 並	-0.7 並	-0.3 並	+2.4 か高	-0.1 並	+1.0 高	+1.1 高
降水	322 か多	144 多	37 少	151 か多	170 か多	44 少	110 並	104 並	121 多	55 少	81 並	86 少
日照	51 か少	124 多	152 か多	112 多	82 少	135 か多	90 少	103 並	92 並	99 並	116 多	103 並

日本海側

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+3.0 か高	+2.0 高	+2.4 か高	+2.5 か高	+0.7 並	-0.6 並	-1.3 低	-0.4 並	+2.0 か高	+0.2 並	+0.6 並	+0.9 高
降水	125 多	216 か多	57 並	135 多	134 多	38 少	125 並	98 並	153 多	57 少	120 多	112 並
日照	55 か少	130 多	161 か多	120 多	89 少	152 か多	81 少	108 多	89 並	109 並	112 多	104 並

オホーツク海側

	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+2.3 高	+2.5 か高	+2.8 か高	+2.5 か高	+0.1 並	-1.7 低	-0.1 並	-0.5 並	+3.2 高	-1.5 低	+1.5 高	+1.1 高
降水	347 か多	59 並	23 か少	128 多	208 か多	19 少	107 多	109 並	152 多	116 多	70 並	109 並
日照	31 か少	122 多	151 か多	103 並	65 か少	131 多	103 並	100 並	94 並	74 少	117 多	96 並

太平洋側

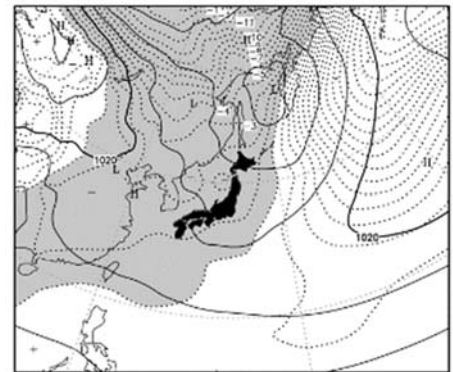
	3月上旬	3月中旬	3月下旬	3月	4月上旬	4月中旬	4月下旬	4月	5月上旬	5月中旬	5月下旬	5月
気温	+2.6 か高	+2.0 か高	+2.5 か高	+2.4 か高	+1.2 高	-0.9 並	-0.3 並	0.0 並	+2.5 か高	+0.1 並	+1.2 高	+1.3 か高
降水	555 か多	96 並	18 か少	183 か多	197 か多	63 並	93 並	110 並	65 少	21 か少	40 少	43 少
日照	55 か少	118 多	143 か多	106 多	82 少	117 多	95 並	98 並	93 並	98 並	121 多	104 並

3. 月毎の気象

(1) 3月『高温・多雨(少雪)・多照』3月は記録的高温、上旬は太平洋側で記録的多雪。

気象経過: この期間の天気は、上旬は低気圧や気圧の谷の影響で、雪や雨の降った日が多く、5日は太平洋側東部を中心に大雪となった所もあった。中旬と下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響で雪や雨の降った日もあった。

地上天気図: 北日本を中心に平年より気圧が低く、北海道付近は発達した低気圧の影響を受けやすかった。



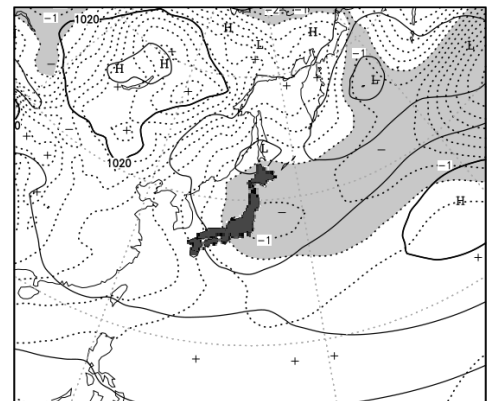
第4図 3月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(2) 4月『並温・並雨(少雪)・並照』月を通すと並温だが、中旬から下旬は断続的に寒気流れ込む。

気象経過: この期間の天気は、上旬と下旬は低気圧や気圧の谷の影響で雨や雪の降った日が多かった。中旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かったが、20日は低気圧の影響により大雨となった所もあった。

地上天気図: 本州の東海上では、低気圧が発達しやすかった。このため、北海道では北からの冷たい空気が流れ込みやすかった。



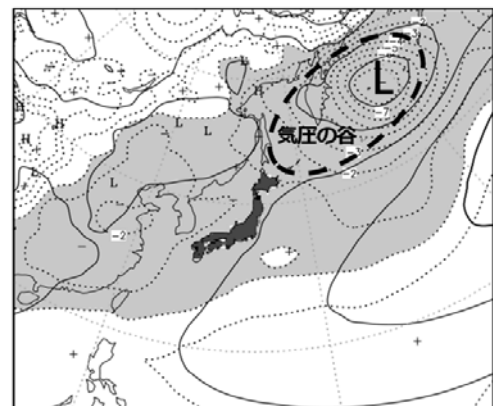
第5図 4月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

(3) 5月『高温・少雨・並照』寒暖の差が大きく、月のはじめと終わりは顕著な高温。

気象経過: この期間の天気は、上旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日があったが、低気圧や前線の影響で雨の降った日もあった。中旬は天気は数日の周期で変化したが、オホーツク海側では低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬は高気圧の張り出しの中となって晴れた日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響により雨の降った日もあった。

地上天気図: オホーツク海からカムチャツカ半島の東にかけて気圧が低くなっており、北海道付近は、オホーツク海側を中心に低気圧や気圧の谷の影響を受けやすかった。



第6図 5月の地上天気図

図の見方は第2図bに同じ

4. 今春の主な記録

(1) 今春に観測された統計開始以来3位までの記録

第3表 今春に観測された統計開始以来3位までの記録（北海道の主な22地点）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
3月	月平均気温（高い）	第1位	根室	1.2℃	+2.5℃	1.2 (2015)	1880
			苫小牧	2.4℃	+2.3℃	2.4 (2015)	1943
			浦河	3.0℃	+2.5℃	2.6 (2015)	1927
		第2位	江差	4.8℃	+2.3℃	4.7 (2015)	1941
			羽幌	2.1℃	+2.7℃	2.8 (2015)	1921
			雄武	0.4℃	+2.8℃	0.8 (2015)	1943
			留萌	2.1℃	+2.5℃	2.5 (2015)	1943
			旭川	0.6℃	+2.4℃	1.7 (2015)	1889
			小樽	2.9℃	+2.4℃	3.3 (2015)	1943
			札幌	3.3℃	+2.7℃	3.8 (2015)	1877
			岩見沢	2.0℃	+2.9℃	2.5 (2015)	1947
			釧路	1.5℃	+2.4℃	1.7 (2015)	1910
			室蘭	3.1℃	+2.2℃	3.4 (2015)	1923
			函館	4.1℃	+2.7℃	4.3 (2015)	1873
		第3位	北見枝幸	0.4℃	+2.4℃	1.3 (2015)	1943
			網走	0.6℃	+2.5℃	1.5 (2015)	1890
			寿都	3.2℃	+2.2℃	3.3 (2015)	1885
			倶知安	1.2℃	+2.6℃	1.3 (2015)	1944
			紋別	0.5℃	+2.3℃	1.3 (2015)	1956
			広尾	1.7℃	+2.2℃	2.3 (2018)	1958
	月降水量（多い）	第3位	苫小牧	108.0 mm	208%	114.5 (2018)	1943
4月	なし						
5月	月降水量（少ない）	第1位	広尾	33.0 mm	20 %	40.5 (1985)	1958
		第3位	浦河	40.5 mm	33 %	19.0 (1979)	1927
3-5月	なし						

注) 今春の記録が2位および3位の場合における「これまでの1位」は、6月1日現在も1位となる。

(2) 長期積雪(根雪)の初・終日、桜の開花日

第4表 長期積雪(根雪)の初・終日(5月31日現在)

	長期積雪(根雪)の初日			長期積雪(根雪)の終日		
	今季	平年差	前年差	今季	平年差	前年差
稚内	12月18日	17日遅	13日遅	3月9日	24日早	同じ
旭川	11月14日	9日早	7日早	3月26日	12日早	15日早
網走	12月24日	18日遅	18日遅	3月21日	11日早	16日早
札幌	12月20日	15日遅	14日遅	3月27日	6日早	8日遅
帯広	12月2日	8日早	4日早	3月25日	6日遅	19日遅
釧路	1月20日	19日遅	同じ	3月13日	3日遅	9日遅
室蘭	1月8日	10日遅	9日遅	3月18日	12日遅	19日遅
函館	12月20日	同じ	13日遅	2月25日	14日早	6日早

第5表 桜の開花日

	本年	平年差	前年差
稚内	5月10日	4日早	3日遅
旭川	5月3日	2日早	2日遅
網走	5月7日	4日早	2日遅
札幌	4月30日	3日早	6日遅
帯広	5月2日	2日早	4日遅
釧路	5月10日	7日早	1日遅
室蘭	5月1日	5日早	2日遅
函館	4月26日	4日早	2日遅

注) 長期積雪は日最深積雪1cm以上から算出

(3) 2019年10月～2020年5月(雪の降る期間)の降雪量

第6表 北海道の主な22地点における、2019年10月～2020年5月の降雪量(cm)と平年比(%)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	10～5月
稚内	--	22: 42%	90: 56%	51: 29%	83: 58%	20: 20%	3: 14%	--	269: 41%
北見枝幸	--	50: 63%	123: 76%	97: 58%	102: 82%	55: 48%	6: 17%	--	433: 63%
羽幌	--	28: 48%	81: 47%	95: 48%	67: 45%	32: 34%	--: 0%	--	303: 44%
雄武	--	23: 55%	44: 39%	60: 48%	62: 65%	37: 41%	15: 54%	--	241: 49%
留萌	--	4: 9%	76: 45%	78: 40%	66: 42%	35: 32%	--: 0%	--	259: 37%
旭川	--	67: 63%	110: 58%	90: 52%	94: 72%	40: 36%	1: 4%	--	402: 54%
網走	--	1: 6%	19: 22%	60: 57%	67: 83%	51: 77%	9: 43%	--	207: 55%
小樽	--	34: 76%	90: 58%	100: 52%	165: 106%	62: 58%	--: 0%	--	451: 67%
札幌	--	44: 138%	54: 41%	85: 49%	195: 133%	49: 50%	--: 0%	--	427: 72%
岩見沢	--	88: 114%	154: 77%	116: 56%	116: 73%	30: 34%	1: 7%	--	505: 68%
帯広	--	5: 56%	17: 36%	42: 71%	62: 168%	45: 107%	14: 156%	--	185: 91%
釧路	--	--: 0%	7: 26%	40: 91%	24: 71%	40: 93%	9: 100%	--	120: 74%
根室	--	--: 0%	21: 58%	47: 76%	32: 58%	43: 86%	18: 129%	--	161: 72%
寿都	--	25: 76%	81: 67%	46: 27%	102: 76%	23: 29%	--: 0%	--	277: 51%
室蘭	--	2: 25%	13: 34%	16: 25%	52: 93%	53: 147%	--: 0%	--	136: 64%
苫小牧	--	--: 0%	14: 52%	26: 67%	51: 131%	42: 156%	--: 0%	--	133: 95%
浦河	--	2: 33%	7: 22%	7: 15%	20: 54%	4: 18%	--: 0%	--	40: 27%
江差	--	--: 0%	30: 42%	2: 2%	34: 39%	--: 0%	--: 0%	--	66: 20%
函館	--	9: 33%	75: 87%	22: 19%	71: 79%	5: 9%	--: 0%	--	182: 48%
倶知安	--	86: 82%	217: 86%	148: 51%	158: 70%	75: 51%	1: 3%	--	685: 65%
紋別	--	18: 60%	24: 23%	67: 52%	75: 74%	53: 58%	12: 41%	--	249: 51%
広尾	--	--: 0%	10: 13%	65: 53%	82: 87%	123: 123%	25: 89%	--	305: 71%
北海道平均		45%	48%	47%	80%	59%	30%		58%
日本海側		65%	58%	41%	71%	34%	3%		52%
オホーツク海側		46%	40%	54%	76%	56%	39%		55%
太平洋側		18%	41%	52%	93%	92%	59%		68%

注1) ここでは、10月と5月は平年の降雪量が1cm未満の地点が多いため平年比を求めている。

注2) 「10～5月」の平年比は、年ごと(寒候年: 前年8月～当年7月)の降雪量平年比とは異なる。

注3)) 付きの値は欠測を含む。

5. 今春に発表した、天候に関わる気象情報※

なし

※ ここでの「気象情報」は、平年から大きくかけ離れた気象状況が数日間以上続き、社会的に大きな影響が予想される
ときなどに発表する情報を指します。

問い合わせ先: 札幌管区気象台地球環境・海洋課
電話: 011(611)6174